

工業団地と江刺工業団地との連携、大船渡港を結ぶ物資の流通上大変重要な役割を果たす橋となる。毎年県要望、広域要望における重要事項と位置づけ要請を行ってきた。厳しい県財政でもあり明確な方向性はまだでない。すでに濃密な計画が出来ている金ケ崎町とも連携を図りながら今後もねばり強く要請を行って参ります。

質問 地域防災情報システムの整備について伺います。

市長 当面各自治区が現在行っている方法の継続という事になりますが、総合的な市の防災情報システムの整備の方法として、①スペースがあれば電柱利用も基本的には可能な事から防災無線の災害危険地域への要所設置。②光ファイバーに接続した拡声器の設置、③メール配信地域の拡充、④FMラジオの活用、⑤ケーブルテレビの活用、など多様な組合せによるコストを押さえた効果的な奥州市型の地域防災情報システムの整備に努力して参ります。

質問 奥州市における人口動態と魅力発揮について伺います。

市長 奥州市における人口の推移は減少に向って厳しい状況にあることから、産業の振興、雇用の場の確保、子育て支援、交流人口

の増大に向けての環境づくり、限界集落をつくらないような環境づくり等々総合的に政策誘導をすすめて参りたいと思っております。

○「改正介護保険法」について ○後期高齢者医療制度について



このひろふみ
今野 裕文
議員

質問 改正介護保険法の全面実施により、サービス利用抑制の実態はどうなっているか。法改正のために福祉用具の購入・レンタルが必要になった方へ、自治体独自の助成をすべきと考えますが、見解をお伺いします。

市長 利用状況から利用抑制とはなっていないとみられる。国の実態調査が行われ近く基準について再度見直しが行われることが予測されるので、今後の動向を踏まえて検討したいと考えています。

部長 問題があるとの報告は受けていない。法改正に伴い、介護ベッドや介護イスの利用がでなくなった方がいるか、それからその方々の対応について調査はしていません。

質問 平成19年4月から後期高

齢者医療保険制度が実施され、75歳以上の高齢者は、今までの介護保険料に加え、健康保険料も併せて、月1万円ほど年金から天引きされることになりました。

そのための岩手県広域連合規約が、12月議会に提案されましたが、多くの問題が指摘されています。とりわけ広域連合の議会議員には、各市町村から少なくとも一人は選出されるようにすること、対象高齢者の声が反映されるよう改善すべきであります。どのように考えますか。

市長 今議会に広域連合の設立議案を提案しており難しい。事務局に奥州市から一人派遣しており、広域連合との連携を密にしていきたい。

都市整備について



このまさかつ
三宅 正克
議員

質問 雇用対策、若者の働く場を創設すると同時に、その働き先への道や生活に関わる道、道路網を整備することについて伺います。

市長 中心市街地を結ぶ路線、

特に東西を結ぶ路線が大変であるという理解をしております。総合計画の実施計画、都市計画のマスタープラン作りの中で考えます。

質問 久田・前田中線が平成25年東水沢バイパス接続後に、新橋（仮称アテルイ大橋）への接続の見通しについて伺います。

市長 副県都を目指す上で最重要プロジェクトと考えますが、県の財政状況から時間がかかり、要望段階にある。百年の大計の柱と考えております。

質問 国道397号線の小谷木橋は老朽化、南町と袋町地内の幅員も狭く、道路改良を県と早期取り組みについての考えを伺います。

市長 重点要望として要望しており、優先順位、重点化をしながら進める時期に参っております。国道397号線道路改良は現在、江刺区内で工事が進められております。胆沢ダムから秋田県への通年通行の要望も国、県にしております。

質問 新たな市街地を計画し、道路網を先に整備し商業集積、産業振興を図ることについて伺います。

市長 総合計画の都市計画のマスタープラン策定と、それに基づく都市計画の見直しの中で考えてまいります。